



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 ジャパンシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9758 URL http://www.japan-systems.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 正坦
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 鈴木 邦夫 TEL 03-5309-0300
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	6,219	—	78	—	87	—	25	—
26年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 19百万円 (ー%) 26年12月期第3四半期 ー百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	0.99	—
26年12月期第3四半期	—	—

(注) 平成27年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	5,588	4,192	75.0	161.02
26年12月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 4,192百万円 26年12月期 ー百万円

(注) 平成27年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年12月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	3.50	3.50
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期 (予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

当社は、現時点で今後の事業環境の変化を反映した合理的な連結業績予想を算出することが困難なため開示をしておりません。今後、連結業績予想が可能になりました段階で改めて公表します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	26,051,832株	26年12月期	26,051,832株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	15,784株	26年12月期	15,768株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	26,036,054株	26年12月期3Q	26,036,454株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第3四半期連結会計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の継続や中国を始めとするアジア経済の先行き不透明感などから、一部に輸出の伸び悩みや個人消費の低迷感がみられるものの、企業や内需関連の大手企業などの収益が改善し、設備投資の増加や株高などを背景にして、ゆるやかに回復の基調を示しながら推移してまいりました。

情報サービス産業におきましては、企業のITインフラ更新やクラウドコンピューティングの普及、SNSの利用拡大などにより、各企業のIT投資は改善の傾向が現れ始めてまいりました。

このような情勢の中、当社は「公共事業本部」「エンタープライズ事業本部」「システム基盤事業本部」の3事業本部が相乗効果を生出す体制(Trinity体制)により既存ビジネスの成長と新たなビジネスを創出し、受注拡大にむけ積極的に営業活動を推進するとともに、企業間の相乗効果を生み出すべく業務提携なども進めてきました。さらに平成27年7月に優れた画像処理技術を保有する株式会社ネットカムシステムズの発行済全株式を取得し完全子会社といたしました。

この結果、受注の状況は好調に推移し、受注残高は前年同四半期比27%増程度の高い伸びを示していますが、マイナンバー制度に関する市場の動きが予想に比べて鈍く、当第3四半期連結累計期間においては、当該売上に對し期待した成果を上げるまでには至っていません。また、継続的な成長を目指し積極的な先行投資を実行しており、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は6,219百万円、営業利益は78百万円、経常利益は87百万円、四半期純利益は25百万円となりました。

サービス品目別の売上高は次のとおりであります。

①アプリケーションソフトウェア開発

アプリケーションソフトウェア開発は、主に官公庁、金融、通信、公益、製造及び流通などの業務ソフトウェア開発が中心であります。当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は4,374百万円となりました。

②パッケージソフトウェア開発

パッケージソフトウェア開発は、主に自治体を中心とする行政経営支援サービス(FAST)及びPCセキュリティ/アクセス管理ソリューション(ARCACLAVISシリーズ)が中心であります。当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,290百万円となりました。

③コンピュータ機器等販売

コンピュータ機器等販売は、主に自治体及び一般企業を取引先として、コンピュータ機器とその周辺機器やネットワーク製品を中心とした販売が中心であります。当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は554百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、5,588百万円となりました。

流動資産は3,279百万円となりました。主な内訳につきましては、現金及び預金1,301百万円、受取手形及び売掛金1,423百万円であります。

固定資産は2,309百万円となりました。主な内訳につきましては、のれん868百万円、投資その他の資産601百万円であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1,396百万円となりました。

流動負債は1,267百万円となりました。主な内訳につきましては、支払手形及び買掛金428百万円、賞与引当金204百万円であります。

固定負債は128百万円となりました。主な内訳につきましては、長期借入金63百万円、資産除去債務65百万円であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、4,192百万円となりました。

主な内訳につきましては、資本金1,302百万円、資本剰余金1,883百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で今後の事業環境の変化等を反映した合理的な連結業績予想を算出することが困難なため開示をしておりません。

今後、連結業績予想が可能になりました段階で改めて公表します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社ネットカムシステムズの発行済全株式を取得し、完全子会社としたため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,301,046
受取手形及び売掛金	1,423,452
仕掛品	259,018
その他	299,903
貸倒引当金	△3,645
流動資産合計	3,279,776
固定資産	
有形固定資産	97,104
無形固定資産	
のれん	868,648
その他	742,203
無形固定資産合計	1,610,852
投資その他の資産	601,143
固定資産合計	2,309,100
資産合計	5,588,876
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	428,927
短期借入金	168,996
未払法人税等	85,534
賞与引当金	204,512
その他	379,905
流動負債合計	1,267,876
固定負債	
長期借入金	63,005
資産除去債務	65,534
その他	214
固定負債合計	128,754
負債合計	1,396,630
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,302,591
資本剰余金	1,883,737
利益剰余金	991,122
自己株式	△4,283
株主資本合計	4,173,168
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	19,078
その他の包括利益累計額合計	19,078
純資産合計	4,192,246
負債純資産合計	5,588,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,219,568
売上原価	4,866,789
売上総利益	1,352,778
販売費及び一般管理費	1,274,565
営業利益	78,213
営業外収益	
受取配当金	9,435
その他	2,106
営業外収益合計	11,542
営業外費用	
支払利息	1,872
その他	415
営業外費用合計	2,288
経常利益	87,466
特別損失	
固定資産除却損	254
特別損失合計	254
税金等調整前四半期純利益	87,212
法人税、住民税及び事業税	98,536
法人税等調整額	△36,975
法人税等合計	61,560
少数株主損益調整前四半期純利益	25,651
四半期純利益	25,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,651
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△6,358
その他の包括利益合計	△6,358
四半期包括利益	19,293
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	19,293
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

当社は、情報サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。